どう考えますか?

圖企画課企画調整係 **8** 028 (77) 601

芳賀町女性団体連絡協議会の

男女共同参画への取り組み

会は、町内に組織する8つ会は、町内に組織する8つの女性団体が、お互いに教でがら、明るでがやく町民のつどいや学ががやく町民のつどいや学ががやく町民のつどいや学ががやく町民のつどいや学ががやく町民のつどいや学 との交流を行っています。習会の開催、他の女性団体 ワ ●「男女共同参画ネッ (は、町内に組織する8つ芳賀町女性団体連絡協議 クさの」との交流会(9 佐野市)

く町民の うど

町民会館)

(10月7日、

▲講師の宮本まき子さん

別役割分担意識に基づく 古い習慣やしきたりが見

- ●家族全員で家事を分担 直され、一人ひとりの考え ●男女が協力して子育ての ●男女が、対等に企画や方 針決定にかかわり、大人も
- 喜びと責任を共有している。 ●男女ともに介護にかか 子どもも共に豊かで住み ている。

地域社会では…

職場では…

- 賃金などの男女格差が解 消され、個性、能力、意欲が 十分発揮できる。
- ●方針決定過程に女性が 参画し、いきいきと活躍し ている。
- ●仕事と家庭・地域生活を わり、家族全員が協力して よい地域づくりに貢献し 両立させ、充実した社会生 活を営んでいる。



います





る機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受社会」と規定することができ、かつ、共にすることができ、かつ、共にすることができ、かつ、共にすることができ、かつ、共に る分野における活動に参画すの意思によって社会のあらゆの対等な構成員として、自ら の対等な構成員として、自ら2条によると「男女が、社会男女共同参画社会基本法第 男廿共同参画社会とは

し、いきいきと輝くことがで意思と責任で生き方を選択できる社会、また、社会のあらゆる分野に対等の立場で参画ゆる分野に対等の立場で参展状では、また、社会のあらかる分野に対策の立場であれることなく、 きる社会のことをい

いる。

家庭では…

●一人ひとりが家族の一

員として意見を出し合っ

〈アンケートの意見〉

○人を動かしたり、会社経営り、不公平に思う。(50代女性) を後は主婦としての仕事もあいているにもかかわらず、帰

ロックで実施される県北・県央・県南の

の 「とち 3 ブ れています。 の6

の修了者で組織さ

芳賀町ひばりの会

栃木県女性教育指

導者

どちらかというと思

ご どちらともいえな

どちらかというと思わな すべきでないと思う

その他

○男女にはそれぞれ本質的に 公平に扱われていると感じる『女性が差別されている、不 ことはありますか』

してきた女性が意見を言えるわらない。子育て、仕事等を

ぎ教育の日」生涯学習フェ スティバルに参加するなど、 スティバルに参加するなど、 のある人は受講してみては

環境にして欲しい

(30代女性)

いかがです

か

○出産のため会社を辞めまし やむを得ない よって待遇面で差が出るのは (70代以上男性)

○男性の意識改革が必要だと 思うので、まず男性に学習の 思うので、まず男性に学習の

(30代女性)

○子育てと家事をきちんと 人が多い。 ○地域での集会のお茶出し (嫁)がやるものと思っている酌、子育てや親の介護は女 ていること。 育てと家事をきちんと (40代女性) (20代女性) (30代女性)

お互いに理解し合い、協力し(女性)がいます。その反面、(女性)がいます。その反面、ように、男女の格差に悩む女ように、男女の格差に悩む女

家庭での役割分担について

10.9%

28.2%

同参画行動計画」に反映され結果は町で策定する「男女共目的に行われたもので、その

同参画に対する意識を調査をこの調査は、町民の男女共

1.4 % 1.1 %

27.7%

14.5%

は35・8%でした。

「男女共同参画につい

ト」を実施し、

回答率

(男女共同参画の取り組みについて)

48.3%

昨年7月から8月にかけて

O

画についてのア∪0人を対象に

男廿共同参画についての

ト結果報告

ます。

分担している

全く分担をしてい

分担する家族がい

その他

○朝早くから夜遅くまで働き だ取れるわけがないのに、こ ういうシステムを作ろうとし ていることがムダに思えて仕 ていることがムダに思えて仕 ○男性には男性、女性には女○男性には男性、女性には女

○男性と同じように職場で働

0.6% 3.3%

『要望したいことはあります

たまにある

あまりない

全くない

その他

(家族にも相談できない悩みについて(女性のみ)

11.0%

10.5%

29.3%

16.0%

聞かせください

引き続き皆さんの意見をお

していきます。決できる環境を検討し、

ことを理解し、

理解し、話し合い、解悩んでいる女性がいる

10.6%

38.5%

実現解

今後、

ている家庭もあるようです。

ンスなど 637

会社、家庭、社会会社、

治会活動など) 社会生活 自

乏しさなど

「栃木県女性の

意識についての男性の理解の在する昔からの慣習、女性の地域や会社などの組織に存

◆現実に起こっている問題 「出たい」と思っている女性 と周囲の人との意見の食い違 い、地域や会社などの昔から の制度による女性軽視の慣習 によるトラブル、育児、家事、 介護などで感じている女性の 負担と家族の協力のアンバラ

とちぎつばさの



030